

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		防災船着場の活用					所管	都市づくり部 道路管理課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	209	計画事業名	防災船着場の活用			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 45 利用しやすい交通ネットワークの整備・充実					[事業開始] 平成 28 年度 [終了予定] - 年度				
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		東京都台東区船着場条例・同施行規則						
	事業対象	直接の対象 : 舟運事業者 最終的な対象 : 来街者									
	事業目的	防災船着場を公共船着場として平常時に一般開放することにより、浅草への交通手段の一つとして舟運を活用させ、回遊性の向上と来街者の増加を図る。									
	事業内容 [H30年度]	開放期間: 通年(年末年始及び隅田川花火大会当日を除く) 開放時間: 午前9時から午後6時まで 利用できる船舶: 旅客船(定期・不定期)及び遊漁船等の営業船舶									
	委託の有無	全部委託	委託内容		利用調整・受付業務、船着場管理業務						
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度				
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率		
	活動指標	船着場開放日	日	359	298	358	358	358	100.0%		
	成果指標	船着場利用回数	件	2,500	3,331	2,230	2,312	2,350	98.4%		
	決算額 (単位: 千円)				H28年度		H29年度		H30年度		
					4,051		5,403		5,736		
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト(人件費など)			2,005		2,095		2,204		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			4,051		5,403		5,736		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		0		
	総経費				6,056		7,498		7,940		
財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			70		234		528			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0			
	一般財源(区負担額)			5,986		7,264		7,412			
課題及び今後の進め方	平常時の一般開放実施以降、東京水辺ラインの定期船が一隻退役したことにより利用回数が減少したが、不定期船の利用促進を図っていくことにより利用回数は回復しつつある。今後も舟運会社等への周知を行っていく。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	浅草への交通手段の一つとして、舟運活性化のニーズは高い。								
	効率性	3	舟運事業者と多くの接点を持つ事業者に業務を委託しており、利用促進に向けての効率性は高いと考えている。								
	手段の適切性	3	業務は舟運事業に熟達した事業者に委託しており、安全かつ円滑な運営を行っている。								
目的達成度	3	利用回数は目標に達していないが、不定期船は増加している。									
〔総合評価〕 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
水辺空間のにぎわいの創出や回遊性向上のために本事業は重要である。平成28年度末に定期便の減便があり、船着場の利用回数は減少したが、不定期船の利用が増加したことにより、30年度の利用回数はやや持ち直している。船着場の開放日は年間358日であり、これ以上増やすことは難しいが、船舶を運行する事業者に対し周知を行い、不定期船の利用促進に努めていく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了			